

1. 開催概要：下記フライヤーのとおり。



日時 2022 年 10 月 31 日(月) 18:00 - 20:00

会場 法政大学 デザイン工学部 市ヶ谷田町校舎

所在地：東京都新宿区市谷田町 2-33

または、zoomオンラインでもご受講いただけます

対象者 どなたでもご参加いただけます

(情報システム学会会員・非会員・学生)

受講料 無料

お申込が必要です (お申込者に前日までに詳細をメールでご案内いたします)

演題：前川國男が提唱した持続可能な建築

～人間とモノとの関係性を考慮した人間中心の建築・まちづくり～

ル・コルブジエやアントニン・レイモンドに師事した前川國男は、日本におけるモダニズム建築の旗手として数々の素晴らしいモダニズム建築を生み出しています。しかし昨今、前川國男が設計した東京海上日動ビルをはじめ、国際ビルディング、帝劇ビル、新宿の小田急百貨店新宿本店など、日本の近代名建築の取り壊し・建て替えの発表が相次いでいます。東京海上ビルの設計では、ビルを取り囲み、どの方向から入れ、憩える「広場」の存在がとくに企図されました。これは、都市に高層建築を建てるということは、まちを豊かで人間にやさしい都市空間にすることだという前川の考えによるものです。歴史的資産としてこれからさらに価値を持つはずの貴重な近代建築をわずか50年前後で取り壊してしまうスクラップ・アンド・ビルドのまちづくりは、まちや建物と人間との関わりを帳消しにし、作り継いできたまちの資産を断ち切ってしまうことにならないでしょうか。「世の中の仕組みを情報システムとして考察し、その本質を捉え、そこに横たわる問題を究明し、そのあり方を改善することを目指す」情報システム学の立場から「都市建築」をとらえると、どのような議論が可能となるのか、ぜひ一緒に考えてまいりましょう。

講師：橋本 功 (はしもと いさお) 氏

株式会社 前川建築設計事務所 代表取締役所長

1945年神奈川県生まれ、1970年日本大学理工学部建築学科卒業後(株)前川國男建築設計事務所入所、1994年(株)前川建築設計事務所取締役、2000年代表取締役に就任、現在に至る。担当した主な作品は、福岡市美術館(1979)、埼玉県立自然史博物館(1981)(現・埼玉県立自然の博物館)、国立音楽大学講堂(1983)・国立音楽大学附属幼稚園(1984)・付属中・高等学校増築(1995)・付属小学校(2008) 千葉県東総文化会館(1991)、埼玉県児玉町総合文化会館(1995)、など。この間、弘前市から熊本県までの、使われている全国の前川建築の保全改修や前川建築に関する様々な活動に精力的に係わり続けている。

前川建築設計事務所は、ル・コルブジエに師事し、戦前・戦後を通じて日本近代建築の歴史に大きな足跡を残した建築家・前川國男が設立した建築設計事務所です。没後も前川の精神を受け継ぎ、建築のあるべき姿を追求しています。

お申込

右のQRコードを読み込み、申込フォームよりお申込み下さい →

お申込みフォームのURL <https://bit.ly/3Eb4A9c>

お申込締切：2022年 10月 29日(土) 23:59



お問合せ先：

一般社団法人 情報システム学会 事務局

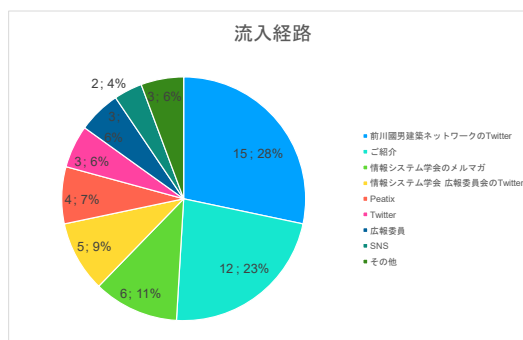
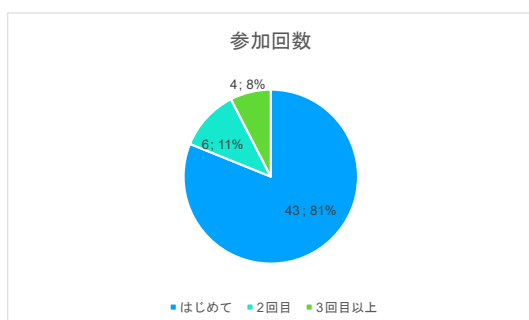
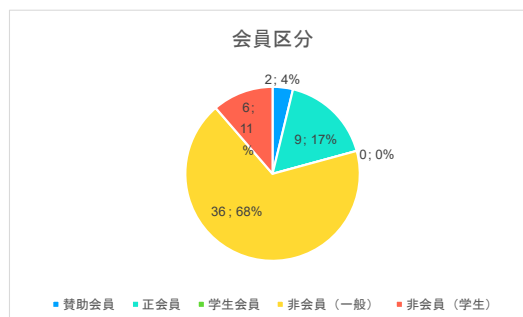
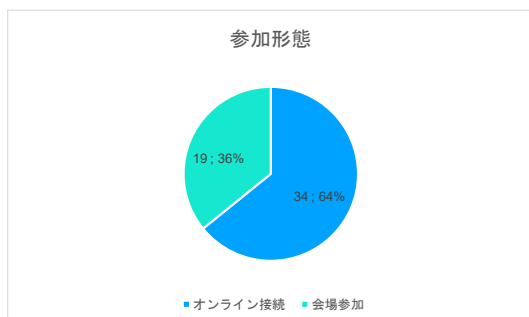
Phone: 03-4570-3280 FAX: 03-4570-3292
Email: issj-office@issj.net Web: <https://www.issj.net/>

2. 告知と申込状況

告知方法：

- ・ 情報システム学会メルマガ配信
- ・ 情報システム学会広報委員会 Twitter
- ・ 前回 HIS 研究会参加者へのメール案内
- ・ 情報システム学会広報委員による告知
- ・ ご講演者の橋本功様、前川國男建築設計事務所様、前川國男建築ネットワーク様（SNS 上のコミュニティ）の関係者による告知
- ・ Peatix

申込数：53名。内訳は以下の通り。



3. 当日の状況

参加数：会場 19名、オンライン 29名（いずれも事務局を含む。ご講演者は除く。）
参加率（申込数に占める参加数）：81%

偉大な近代建築家である故・前川國男氏が、まちや建物に集う人間の生活を考えて設計し、東京駅周辺のランドマークとなっていた東京海上日動ビルが、このたび取り壊されることになりました。高度成長期以降、経済合理性の追求が進み、投資対象となった建築がスクラップアンドビルドされるようになっていったなかで、前川國男氏は、「都市計画とは、市民の生活の主体を作ることだ」と考え、いわば「人間中心の建築」のあり方を追求しました。

今回の HIS 研究会では、前川建築設計事務所で現在も前川國男氏の打ち立てた理念にもとづき建築設計に取り組んでおられる、同事務所の橋本功所長にご登壇いただき、前川國男氏の建築や都市計画についての考え方や具体的な取り組みについて詳しくお話しいただきました。また、後半には、会場とオンラインの参加者を交え、「都市とは誰のものか」というテーマでディスカッションを行いました。

「人間中心の情報システム」を掲げる情報システム学会と、「市民の生活の主体を作る建築」をめざす故・前川國男氏および前川建築設計事務所の考え方には、実は共通点が多く、親和性が高いということを、それぞれの関係者が相互に確認できて、活発な質疑や議論が行われました。

このたびの HIS 研究会では、建築という分野におけるアナロジーとしての「人間中心の情報システム」について論じました。今後も HIS 研究会では、情報デザインやリベラルアーツを含む幅広い分野にわたって、「人間中心の情報システム」についての研究と実践に取り組んでまいります。

■ご講演者の橋本功様



■会場の様子



■対面・オンライン参加者を交えたディスカッション（ファシリテーター：中嶋聞多主査）

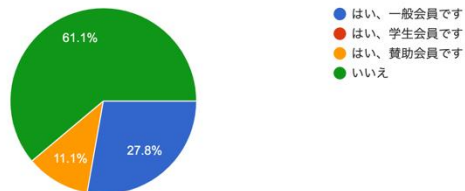


4. 終了後アンケート

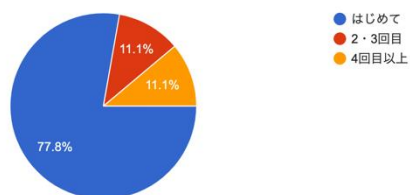
回答数：18件

回答率（参加数に占める回答数）：37.5%

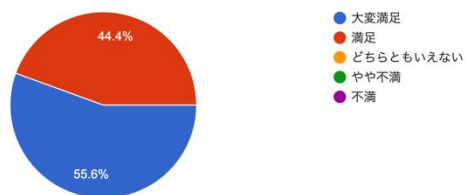
あなたは情報システム学会の会員ですか
18件の回答



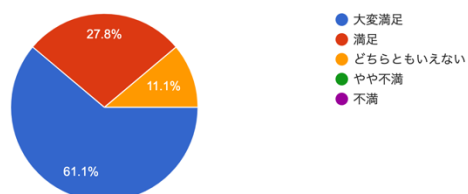
HIS研究会への参加は何回目ですか
18件の回答



本日の講演内容はいかがでしたでしょうか
18件の回答



本日の会場や実施方法（ハイブリッド方式）、時間帯はいかがでしたでしょうか
18件の回答



以上